

なかぐしくうどうん

# 中城御殿跡地整備検討委員会

## 第2回

第2回委員会：12月24日（金）10：00～

### 【資料4】施設計画の改定（案）について

1. 改定に係るポイント
2. 施設全体の必要機能（案）
3. ゾーニング計画（案）
4. 外部景観の検討
5. 施設の諸室計画（案）
6. 諸室の配置計画（案）
7. 展示計画（案）
8. 中城御殿の利用イメージ（案）

# 1. 改定に係るポイント

## 特別展示エリアにおける必要機能・規模の検討と防災・防火対策の強化

- 中城御殿の特徴である屋根形状は往時の形態を再現する。展示・収蔵・管理に関する必要規模は、特別展示エリアの増床で対応することで建物外観への影響を抑える。
- 防災・防火対策を強化するため、特別展示エリア及び表御殿西側エリアともに耐火構造（R C造）とする（表御殿西側エリアは鉄骨造から変更）。外観仕上げは不燃仕様を基本とする。
- 特別展示エリアと表御殿東側エリアの接続部分（現行計画では木造）については、屋根のみの半屋外施設へ変更することで、木造復元エリア部分と明確に区分し、消防隊の進入も可能とする。

## 平面計画の主な変更点（案）

- 一般動線について、表御殿西側エリアを始点・終点（中門→中御庭）とする。
- 表御殿西側エリアにおいて多様な利活用を図るため、展示室と連続した空間に体験・交流ホールを設けることで一体的な利用も可能とする。

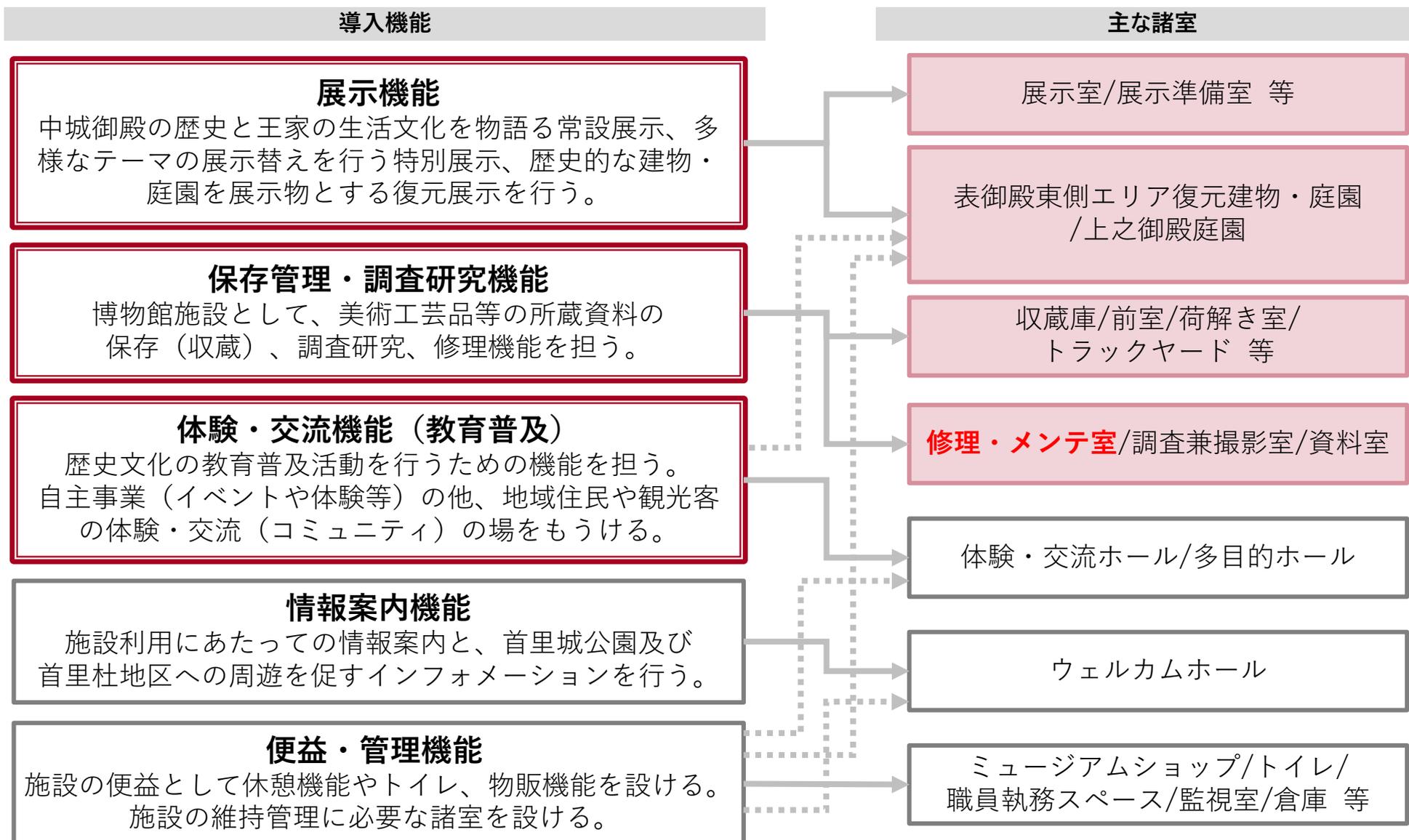
## 景観上の留意事項

- 往時の屋根形状は変更せず、増床部は陸屋根とするなど、復元部分と変更部分を区別する。
- 外観再現（R C造）部分の外部仕上げについては、木造復元建物との景観的な連続性に配慮しながら、不燃仕様などの防火対策について引き続き検討する。
- 中御庭の歴史的雰囲気整備の見せ方については、基本設計等で詳細を検討する。

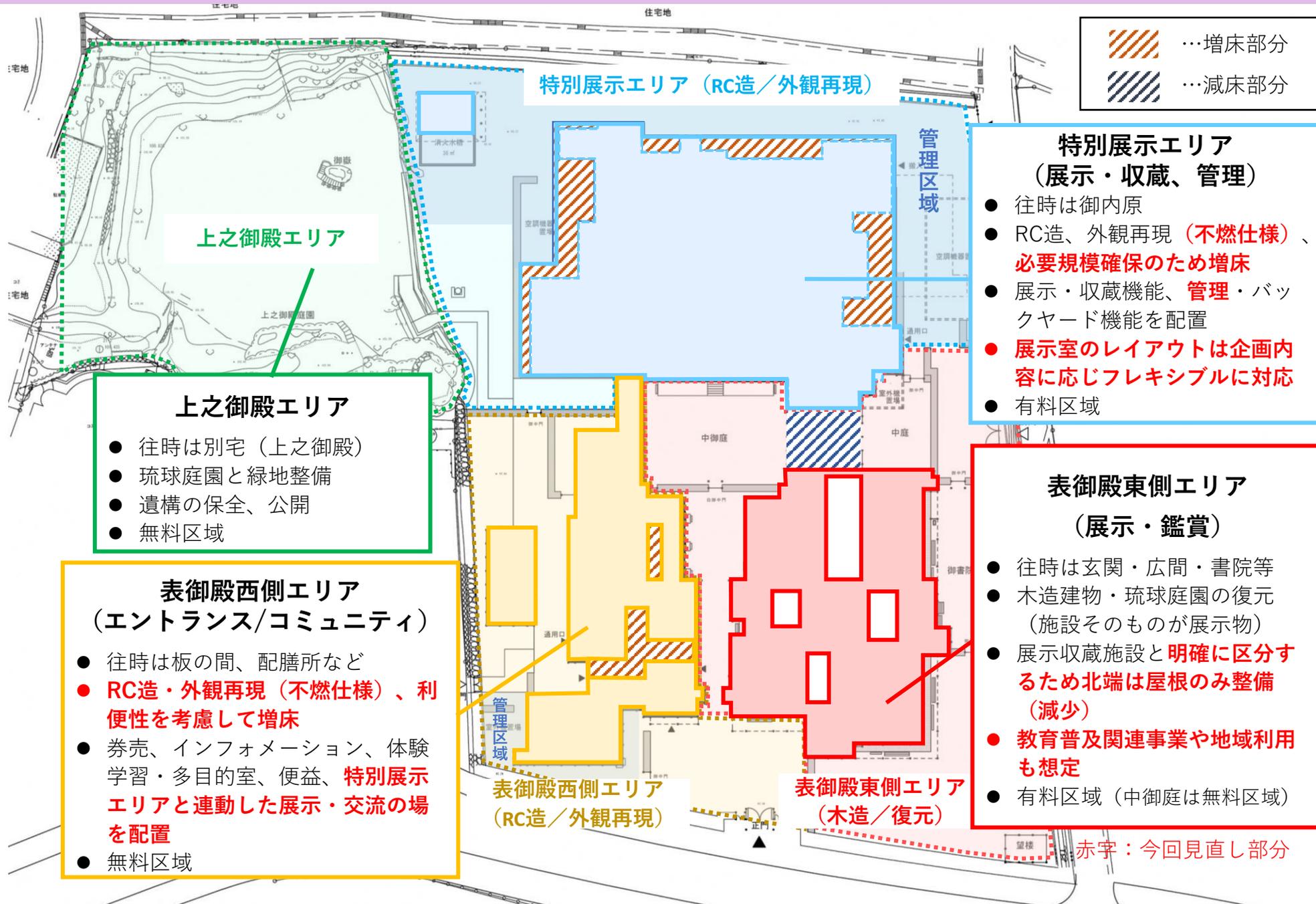
## 2. 施設全体の必要機能（案）

中城御殿では、建物や庭園等の復元展示に加え、登録博物館として必要な機能を持つ施設とする。  
過年度までの必要機能を再構成する。

※赤字は新たな機能



### 3. ゾーニング計画 (案)



#### 上之御殿エリア

- 往時は別宅 (上之御殿)
- 琉球庭園と緑地整備
- 遺構の保全、公開
- 無料区域

#### 表御殿西側エリア (エントランス/コミュニティ)

- 往時は板の間、配膳所など
- RC造・外観再現 (不燃仕様)、利便性を考慮して増床
- 券売、インフォメーション、体験学習・多目的室、便益、特別展示エリアと連動した展示・交流の場を配置
- 無料区域

#### 特別展示エリア (展示・収蔵、管理)

- 往時は御内原
- RC造、外観再現 (不燃仕様)、必要規模確保のため増床
- 展示・収蔵機能、管理・バックヤード機能を配置
- 展示室のレイアウトは企画内容に応じフレキシブルに対応
- 有料区域

#### 表御殿東側エリア (展示・鑑賞)

- 往時は玄関・広間・書院等
- 木造建物・琉球庭園の復元 (施設そのものが展示物)
- 展示収蔵施設と明確に区別するため北端は屋根のみ整備 (減少)
- 教育普及関連事業や地域利用も想定
- 有料区域 (中御庭は無料区域)

# 4. 外部景観の検討

改定案 中城御殿 鳥瞰図①



東側

--- 増床箇所



中城御殿 鳥瞰図（正面、龍潭側より）

エリア	H26計画	R3見直し	増減
特別展示エリア	約1,990㎡	約2,260㎡	270㎡
1階	約1,448㎡	約1,688㎡	240㎡
地下・ポンプ室	約542㎡	約572㎡	30㎡
表御殿西側エリア	約740㎡	約770㎡	30㎡
表御殿東側エリア	約920㎡	約840㎡	-80㎡
合計	約3,650㎡	約3,870㎡	220㎡

## 4. 外部景観の検討

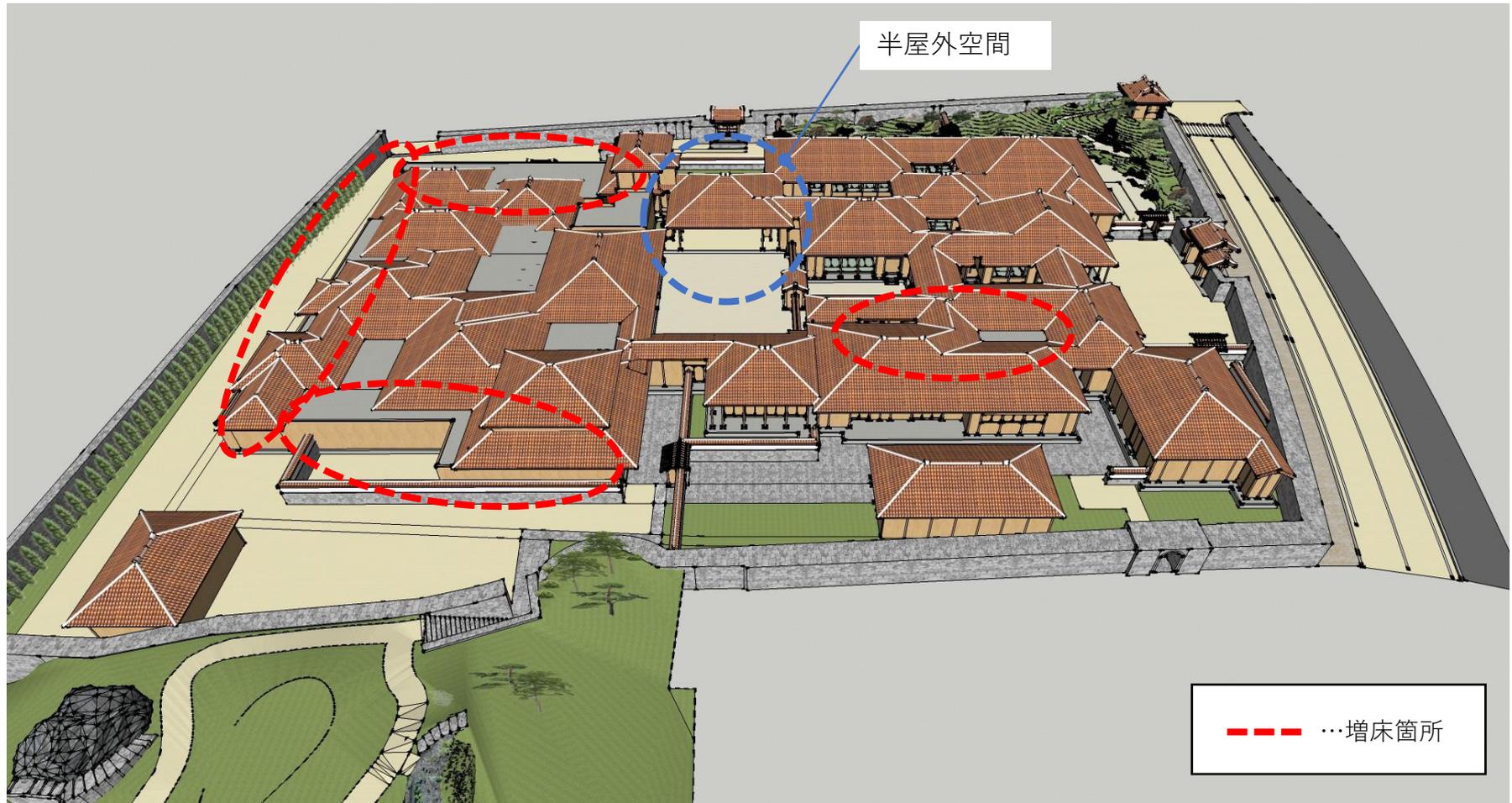
改定案 中城御殿 鳥瞰図②



中城御殿 鳥瞰図（北側より）

## 4. 外部景観の検討

改定案 中城御殿 鳥瞰図③



中城御殿 鳥瞰図（西側、上之御殿方面より）

## 5. 施設の諸室計画（案）

導入機能・規模一覧（表御殿西側エリア 計770㎡ / 東側エリア 計840㎡）

導入機能		室名	平面計画案	諸室の利用内容、規模の考え方
表御殿西側エリア	体験・交流	多目的ホール	120.0㎡	講座や体験学習等を行える多目的ホール。80人程度の利用を想定。
		小計	120.0㎡	
	案内・体験・交流	ウエルカムホール	140.0㎡	施設のエントランスとして、施設概要、首里地域の誘導案内の展示を行う。外部から来た人々の休憩の場にも利用する。ロッカーや券売所を併設する。
		体験交流ホール（交流ひろば）	200.0㎡	施設見学の振り返りを行う体験・交流の広場空間。50人程度が滞留できる広場を設け、休憩にも対応する。
		体験室	30.0㎡	小規模の体験学習や研修等に活用できる体験室。10人程度の利用を想定。
		小計	370.0㎡	
	便益	ミュージアムショップ	27.0㎡	施設に関する書籍やグッズ等の物販を行う。類似施設を参照して設定。
		トイレ	70.0㎡	施設利用者用のトイレ（男子大3, 小3, 女子大4, 多目的トイレ1）。事例等を参照し設定。
		小計	97.0㎡	
	管理①	券売所	43.0㎡	施設利用者に対応するための管理スペース（券売・利用案内用カウンター、職員執務スペース、救護室）を想定。
		事務室		
		救護室		
		小計	43.0㎡	
	その他	通路等	60.0㎡	
	合計		690.0㎡	
管理② 別棟部分	休憩室兼更衣室	22.0㎡	現場のサービス職員の休憩室。3人程度（男女計6人）が交代で利用するものと想定。ロッカー設置する。	
	設備室	58.0㎡	施設の維持管理に必要な設備室を設ける。	
		80.0㎡		
エリア計		770.0㎡		
東側表御殿 エリア	エリア計		840.0㎡	建物や庭園の鑑賞施設。展示や利用するスペースとともに、控室等も設ける。往時の間取をもとに設定。

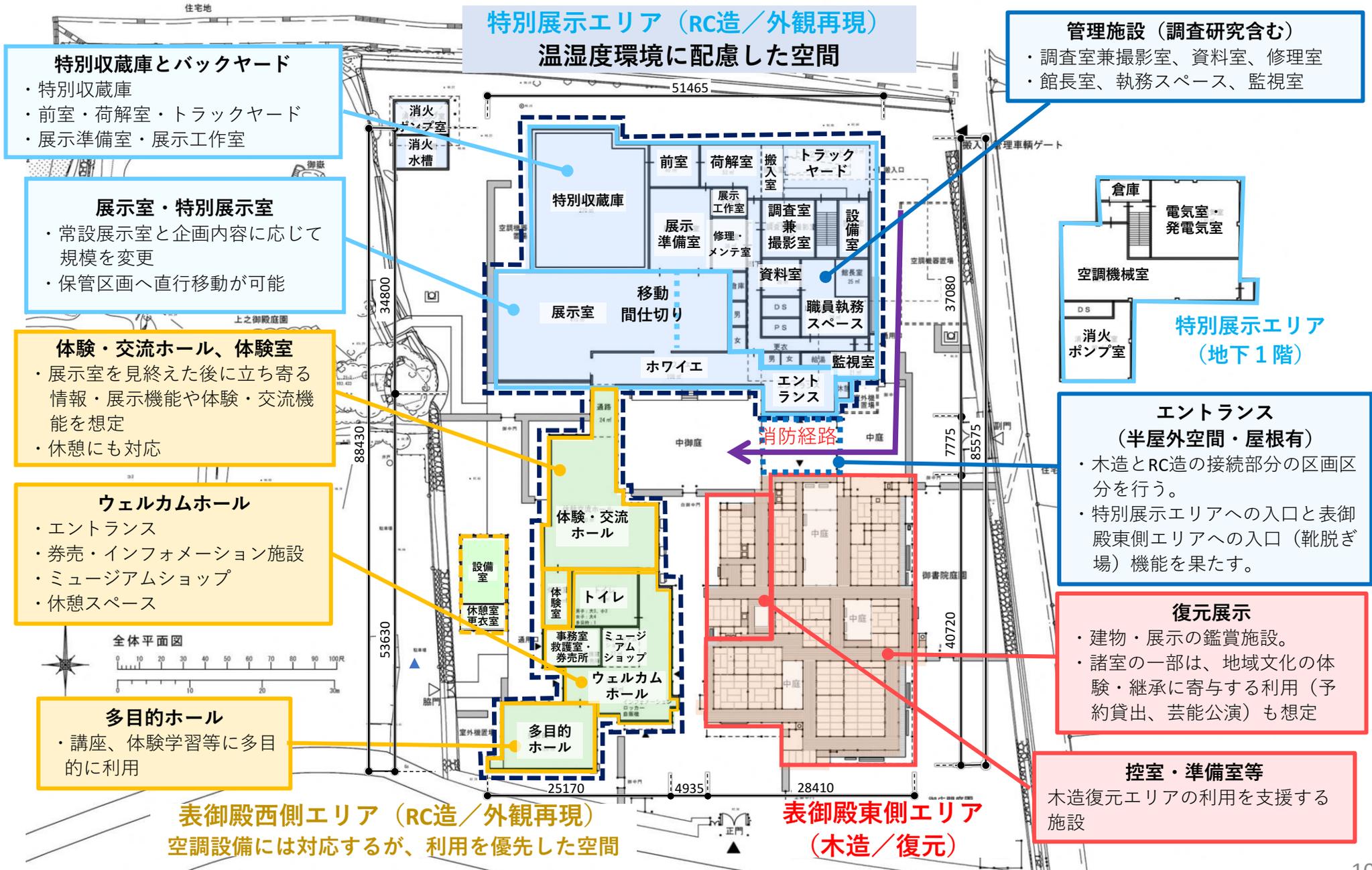
## 5. 施設の諸室計画（案）

導入機能・規模一覧（特別展示エリア計2,260㎡）

延床面積 計3,870㎡

導入機能	室名	平面計画案	諸室の利用内容、規模の考え方
展示	特別展示室	410.0㎡	特別展示室及び常設展示室を設ける。企画に応じ両室はフレキシブルに変更できるよう対応。特別展示室は城郭内の特別展示室(約220㎡)と同等規模を見込む。類似施設を参照し設定。
	常設展示室		
	小計	410.0㎡	
保管管理・ 調査研究	特別収蔵庫	270.0㎡	所蔵資料の保管をはじめ、一時的に借用資料を保管する場。首里城美術工芸品の実測調査をふまえ、今後の収集に伴う将来増加分及び一時保管を勘案した規模を確保。
	前室	40.0㎡	収蔵庫の入口前にもうける部屋。収蔵庫に対し外気等の影響を受けないことに考慮し、展示準備等の簡易作業や仮置きなども行う。類似施設を参照し設定。
	荷解き室	52.0㎡	トラックヤードから搬入された収蔵品の荷解きを行う場所。類似施設を参照し設定。
	トラックヤード	110.0㎡	資料を積んだトラックから積み下ろしを行う場所。4トントラック1台分を格納可能な面積で算出。
	展示工作室	20.0㎡	展示パネル等の製作を行う工作室。作業スペースやプリンターや工作棚などを設ける。
	展示準備室(倉庫)	100.0㎡	展示準備を行う準備室で、展示ケースを保管する倉庫も兼ねる。
	修理・メンテ室	36.0㎡	所蔵資料の修繕やメンテナンスを行う部屋。作業テーブル、ム口、備品・什器を配置。類似施設を参考に設定。
	調査室兼撮影室	60.0㎡	資料の調査や研究、所蔵資料の撮影等を行う場所。兼用で利用し、機材等の持ち込みや作業スペースを想定した規模とする。類似施設を参考に設定。
	小計	688.0㎡	
管理③	職員執務スペース	78.0㎡	職員の執務スペース(8人程度)の他、打合せ等を行えるスペースを設ける。
	館長室	25.0㎡	館長室執務スペース、来客用の応接室を設ける。
	資料室(書庫)	30.0㎡	調査研究や展示等に必要な書庫。1万冊程度収納の棚を設置する他、備品倉庫を設ける。
	監視室	21.0㎡	施設の防災や設備等の情報を監視するスペース。専門職員3人程度を配置できるスペースとし、隣接して休憩室を設ける。
	小計	154.0㎡	
共有	エントランス	70.0㎡	特別展示エリアのエントランスやホワイエを置き、展示室への誘導を行う。
	ホワイエ	108.0㎡	
	設備、通路等	258.0㎡	管理者用の便所、更衣室の他、設備室、通路等を設ける。
	小計	436.0㎡	
1階計		1688.0㎡	
地下・別棟計		572.0㎡	設備室を設ける。
エリア計		2260.0㎡	
延床面積		3870.0㎡	

# 6. 諸室の配置計画 (案) (主な諸室と利用の考え方)



## 6. 諸室の配置計画（案）（動線計画）

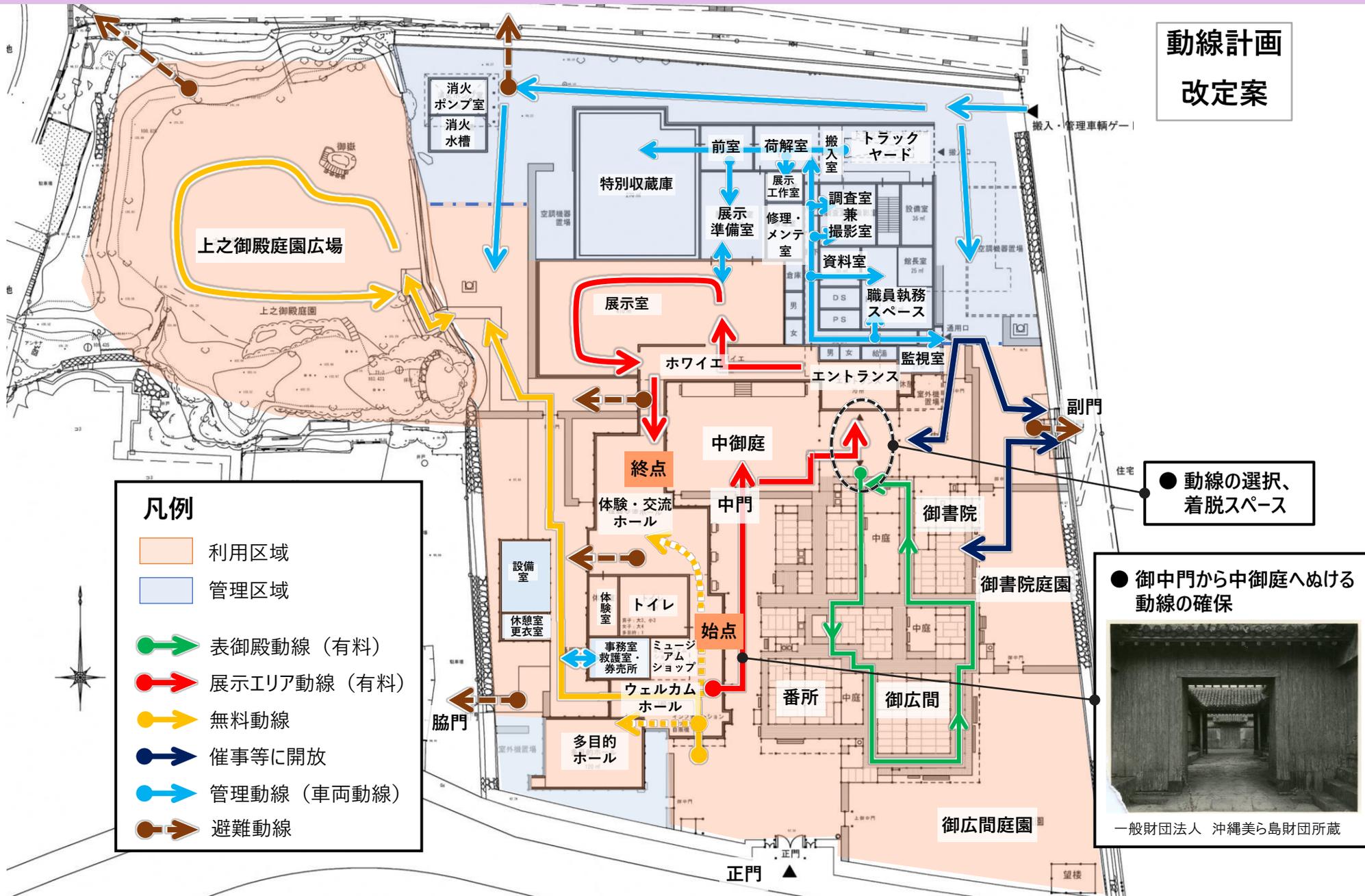
今回の改定案では「表御殿西側エリア」を始点とする案を提案する。

有料動線の始点と表御殿東側エリアでの利用者の動きの特徴に着目し、動線案を検討したところ次のようなメリット・課題がある。

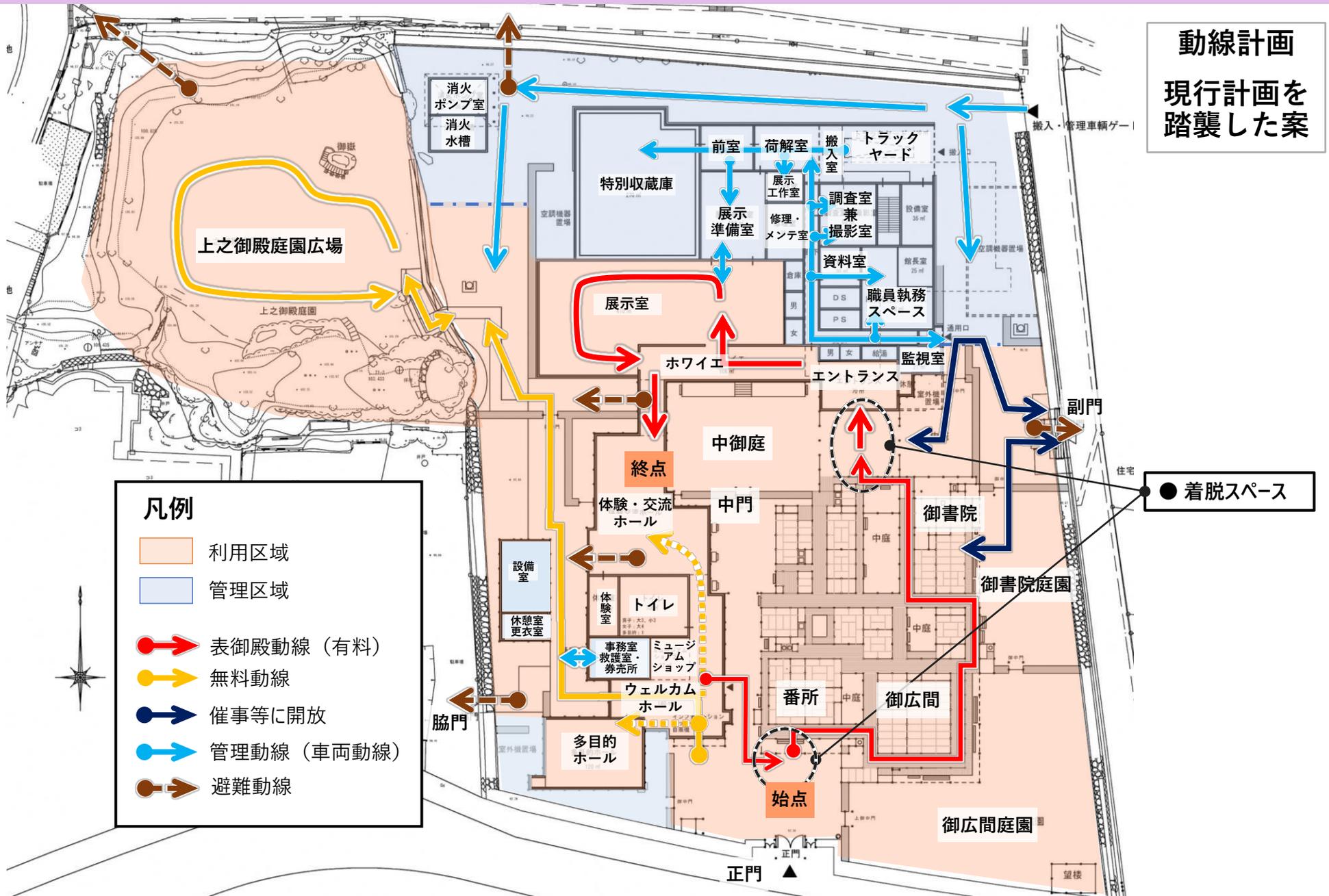
### 動線計画案の比較表（建物内）

	事務局案	現行計画踏襲案
有料動線の始点と終点	● 中御庭→表御殿西側エリア	● 表御殿東側エリア（番所） →表御殿西側エリア（体験・交流ホール）
利用者の動きの特徴	● エントランス（半屋外空間）で靴を着脱（靴箱に収納可能）	● 木造建物の手前（番所）で靴を着脱（持参し鑑賞）
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各エリアに向かう際に、中御庭へのシーケンスを体感できる。</li> <li>● 整備中の段階的公開に対応可能</li> <li>● 選択動線のためリピーターにも対応可能</li> <li>● 表御殿東側エリアの貸切利用に対応可能</li> </ul>	● 木造復元（表御殿東側エリア）から順番に展示を見ることができる。
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中御庭のサンゴ砂利と動線の分離が必要</li> <li>● 利用者は、特別展示エリアと表御殿東側エリアの二方向を選択することになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 表御殿東側エリア前の靴脱ぎ空間が確保できず滞留が発生する可能性がある。また雨天時の対応が難しい。</li> <li>● 中御庭は正門側と建物側（エントランス）から鑑賞するのみとなる。</li> </ul>

# 6. 諸室の配置計画 (案) (動線計画)



# 6. 諸室の配置計画 (案) (動線計画)



動線計画  
 現行計画を  
 踏襲した案

- 凡例**
- 利用区域
  - 管理区域
  - ➡ 表御殿動線 (有料)
  - ➡ 無料動線
  - ➡ 催事等に開放
  - ➡ 管理動線 (車両動線)
  - ➡ 避難動線

## 7. 展示計画（案）（施設コンセプトと展示テーマ）

### 施設コンセプト

琉球王家の屋敷と生活－王国末期から近代における琉球建築と王朝文化の継承－  
（首里の歴史・文化、首里城及び周辺の文化遺産、風格ある歴史的まちなみの再生）

復元整備の時代設定：1874年～1945年

### 展示テーマ

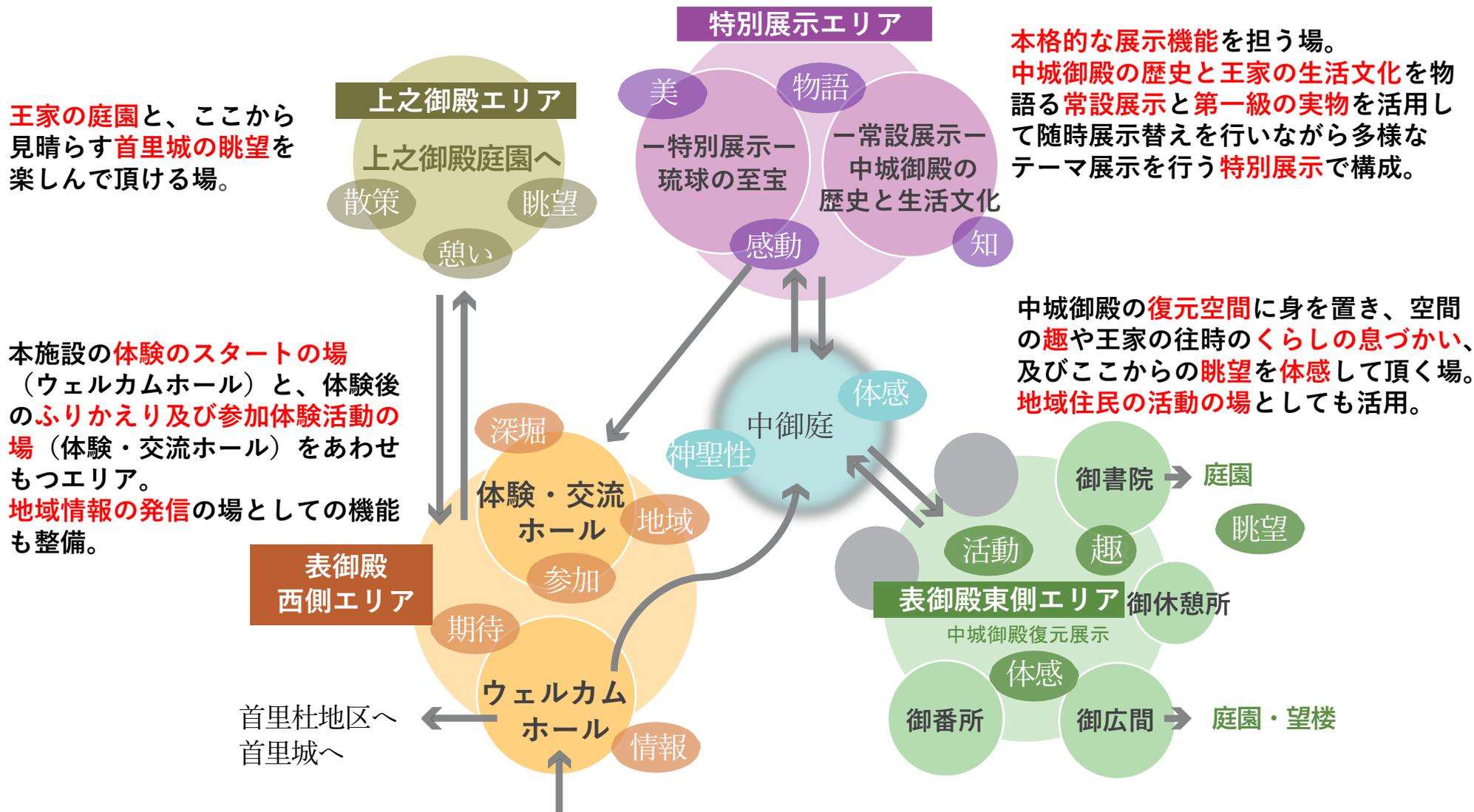
琉球王家の屋敷と王家の生活文化

王朝文化及び王都・首里に由来する琉球の文化遺産

復元年代にこだわらず、琉球王国時代等を含めた情報を広く発信

# 7. 展示計画（案）（展示の全体構成）

各エリア毎の特徴をふまえた機能の明確化を図り、各々に異なる魅力的な体験を創出、バランスの取れた全体構成を構築。

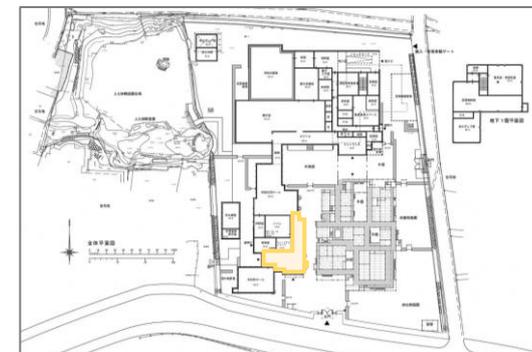
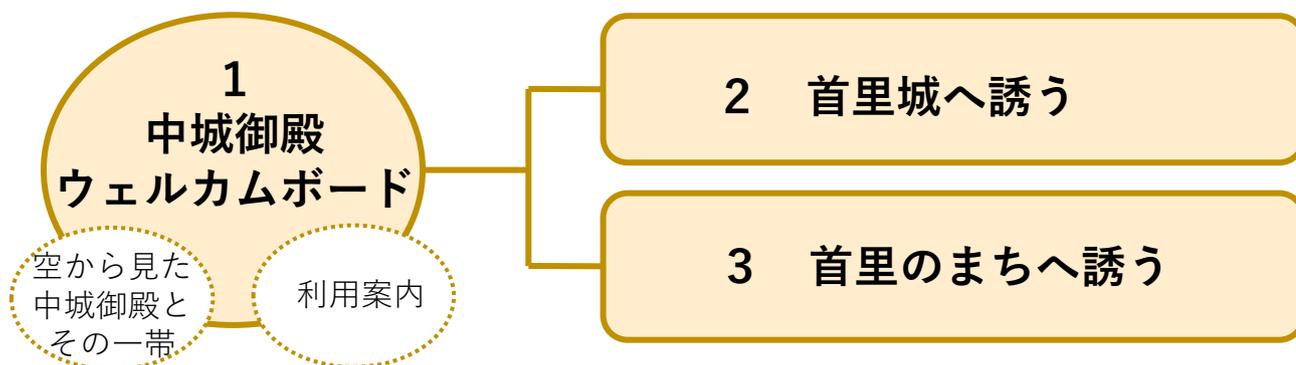




# 7. 展示計画（案）（①ウェルカムホールの基本的考え方と構成）

お客様を最初に迎える場。  
期待感を高め、ここから始まる体験にスムーズに誘うための情報提供と演出を行う。

《展示構成のイメージ》



## 1 中城御殿ウェルカムボード

- 大型の映像演出等で、訪れたお客様の視線を最初にキャッチ。
- ここから始まる体験をより充実したものとするために、中城御殿の基本的な情報、施設の全体像や魅力等の情報提供を行う。
- 期待感を高める魅力的な演出に留意。
- 床面に首里城公園一帯の航空写真を展開することも検討。
- 開館時間やマップ、催事情報、禁止事項、防災情報等の利用案内を伝える機能も整備。

## 2 首里城へ誘う

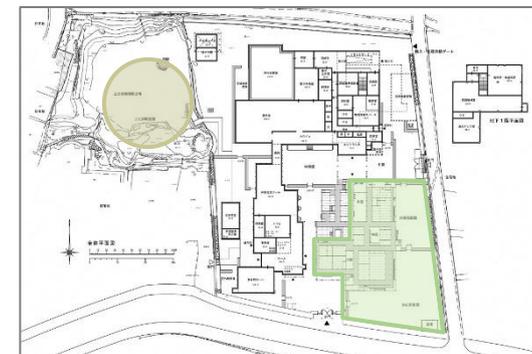
- 首里城公園全体についてのインフォメーション機能を整備。
- 公園全体のマップ情報や、施設構成、見どころ、利用案内、催事情報などの情報を提供。
- 情報提供の手法としては、グラフィックパネルに加え、検索装置、アプリ等を介したスマホを通じての情報提供のあり方を検討。

## 3 首里のまちへ誘う

- 関連史跡や施設など、首里のまちへ誘うための情報提供を行う。
- まち全体のマップ情報やおすすめ散策コースの案内、各施設・史跡等の見どころ、利用案内、催事情報などの情報を提供。
- 情報提供の手法としては、グラフィックパネルに加え、検索装置、アプリ等を介したスマホを通じての情報提供のあり方を検討。

# 7. 展示計画（案）（②中城御殿復元展示の基本的考え方と構成）

復元空間そのものが主役。  
理解を深めるための情報提供、王家のくらしの  
息づかいを感じさせる演出を実施。



- ・本エリアは復元空間そのものが主役。空間の佇まいを阻害しないように留意しつつ、邸宅や各居室についての理解を深めるための情報提供を行う。
- ・かつてここで繰り広げられた王家のくらしを感じさせる演出として、調度品などを再現・配置するとともに、季節に応じた営みや、賓客への接待の風景などを、部屋の装飾などを変えるなどして、時宜に応じて演出することを検討。
- ・復元空間を生かした、参加体験型の展示の導入についても検討。

## 《想定される展示要素》

### ●調度品の再現・配置

### ●理解を深めるための情報提供

- ・見どころや何に使用されたかなどの各居室の情報や、往時の様子を伝える古写真などを紹介。
- ・空間を邪魔しない程度のグラフィックパネルの設置、QRコード等を活用したスマホ対応の情報提供のあり方を検討。

### ●時宜に応じたディスプレイ

- ・年中行事や季節に応じて食卓の様子や装飾を再現するなど、時宜に応じたディスプレイを実施することを検討。
- ・（皇太子であった頃の）昭和天皇をもてなした時の状況を演出するなど、歴史的事実に即したシーンを演出することを検討。

### ●参加体験展示

- ・琉球王家の衣裳の着用体験など、参加体験性のある展示の導入も検討。



大広間東南面と庭園  
(沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館所蔵)



大広間  
(一般財団法人 沖縄美ら島財団所蔵)



大広間 違い棚  
(一般財団法人 沖縄美ら島財団所蔵)

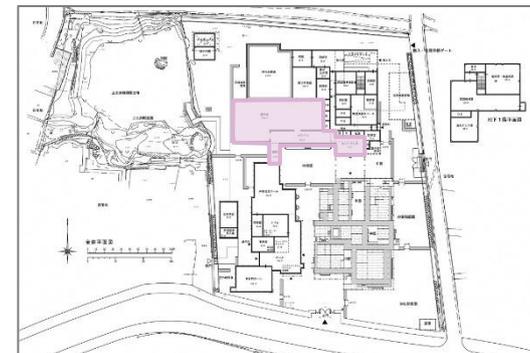


御広間庭園  
(琉球大学附属図書館)

# 7. 展示計画（案）（③常設展示の基本的考え方と構成）

中城御殿の歴史や王家の生活文化を、実物、映像、造形等の多様なメディアを活用して紹介。

- ・中城御殿の辿った歴史や王家の生活文化を、古写真や出土遺物、関連資料を交えながら紹介。
- ・映像、音響、造形、体験装置など、多様な展示メディアも活用しながら、誰もが楽しく中城御殿の歴史や王家の生活文化に触れられるように留意する。



## 1. 中城御殿の足跡を辿る



- 首里高校の敷地にあった頃から移転し、沖縄戦で消失してしまうまでの中城御殿の足跡を、時間軸にそって紹介。
- 紹介にあたっては、出土遺物、古写真、板図、その他関連資料を活用しながら、映像や造形等の多様な展示メディアを導入して、中城御殿の歴史を多角的かつ分かりやすく伝える。
- 円覚寺、龍潭、松崎馬場などの出土遺物や古写真も活用し、中城御殿の歴史をより広い視野から紹介。

日常の暮らし  
・王家の日常生活  
・風習と言葉、等

尚家の人々  
・尚氏の系譜  
・尚泰王一家  
・他の王家、等

## 2. 琉球王家の生活文化

年中行事と儀礼  
・王家の年中行事  
・王家の儀礼、等

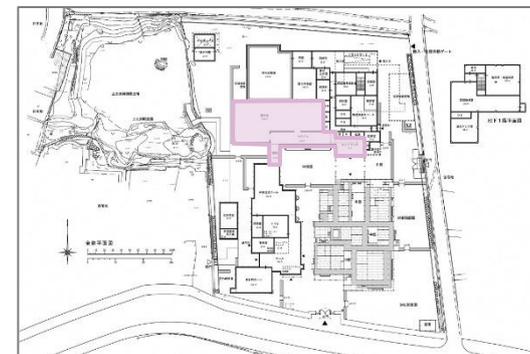
中城御殿を訪れた人々  
・昭和天皇（皇太子時）  
・田辺泰  
・柳宗悦  
・鎌倉芳太郎、等

- 「日常の暮らし」「年中行事と儀礼」「尚家の人々」「中城御殿を訪れた人々」の4テーマに基づいて、琉球王家の生活文化を紹介。
- 紹介にあたっては、実物資料、古写真、その他関連資料を活用しながら、映像や造形等の多様な展示メディアを導入して、多角的かつ分かりやすく伝える。

# 7. 展示計画（案）（④特別展示の基本的考え方と構成）

国宝級の実物資料の展示も可能な特別展示室。  
多様な企画展示に対応できる環境を整備。

- ・ 首里城の美術工芸品をはじめ、第一級の貴重な実物資料を活用した様々な特別展示を行う場。国宝級の実物資料の展示も可能とする展示環境を整備。
- ・ 温湿度管理ができるエアタイトケースの導入、最先端の虫害対策等に留意し、文化庁が承認する公開承認施設となることを目指す。
- ・ 多様なテーマの特別展示に対応できる什器や照明設備等に留意するとともに、映像装置や音響装置などを活用することも想定した環境を整備。



## 《特別展示のテーマ例》

- 琉球王国の儀礼とその衣裳・装身具
- 王家の食卓を彩る調度品
- 首里城の美術工芸品、等



中城御殿の庭園の石燈籠  
(沖縄県立博物館・美術館所蔵)



玉冠（付簪）  
(那覇市歴史博物館所蔵)



木綿白地雪輪菊稻妻に  
龍の丸文様両面紅型単衣裳  
(一財 沖縄美ら島財団所蔵)



黒漆山水楼閣螺鈿中央卓  
(一財 沖縄美ら島財団所蔵)



白澤の図  
(一財 沖縄美ら島財団所蔵)



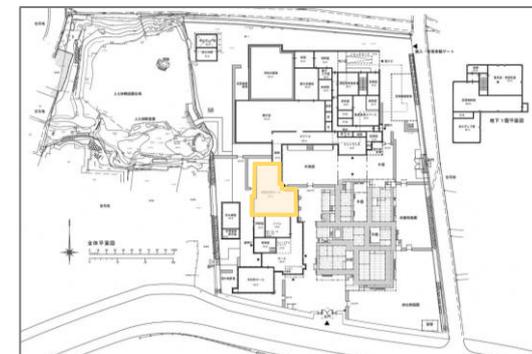
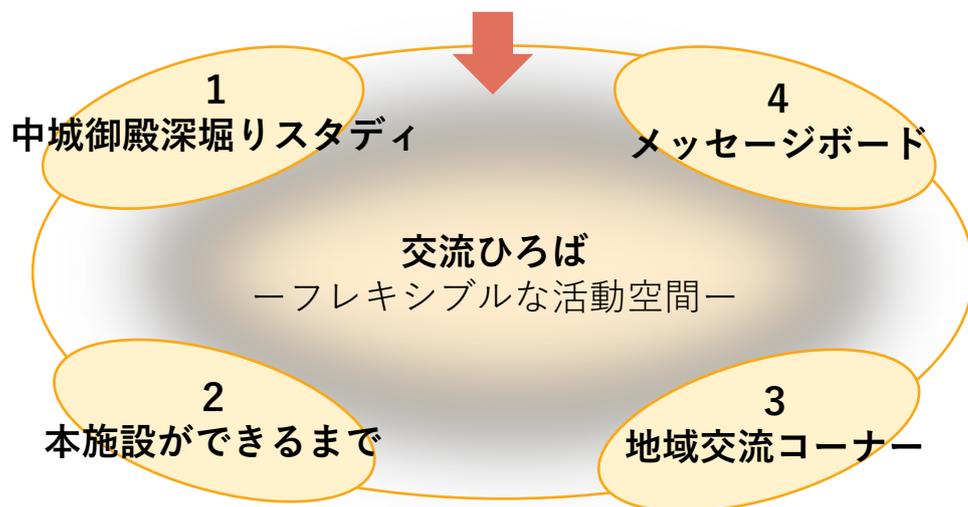
黒漆雲龍螺鈿東道盆  
(那覇市歴史博物館所蔵)



赤地龍瑞雲嶮山文様縞珍唐衣裳  
(那覇市歴史博物館所蔵)

## 7. 展示計画（案）（⑤体験・交流ホールの基本的考え方と構成）

中城御殿の体験を振り返りより深める機能と交流活動の機能をあわせ持つ空間として整備。



### 交流ひろば

- 琉球文化の体験講座や企画展示と連動した物販等、多様な活動に活用できる、フレキシブルな空間とする。
- 展示装置等は壁面に集約。中央の広場空間を確保。
- 床面に「首里古地図」を展開することも検討。



### 1 中城御殿深堀りスタディ

- ここに至るまでの体験をふまえ、体験から得た知識や感動をより深め、興味を広げて頂くためのデジタルコンテンツを提供。
- クイズや小テーマ毎のビデオクリップ、情報検索等を想定。
- 加えて中城御殿、首里城、琉球王国等に関連するミニライブラリを設置し、自由に手に取って読むことができるように整備。

### 2 本施設ができるまで

- 中城御殿の建物や庭園を復元するまでの物語をメイキングオブ映像で紹介。
- 発掘調査や関連資料調査等についてもふれ、研究者をはじめ、多くの人々の取組みによって、本施設ができたこと、そのプロセスや苦労話などを紹介。

### 3 地域交流コーナー

- 周辺地域の地域情報を発信するコーナー。
- 伝統産業や工芸品、祭等の伝統行事等を紹介。
- 容易に展示替えできる展示設備に留意し、地域の活発な情報発信を支援。

### 4 メッセージボード

- お客さまのここに至るまでの体験を通しての感想や疑問などを自由に書き込めるデジタルボード。
- アンケート機能を設けて、マーケティング調査機能をもたせることも検討。
- ボードに投稿されたお客様のおすすめスポット等をウェルカムホールで紹介することも検討。

## 8. 中城御殿の利用イメージ（案）

### 【表御殿西側エリア（ウェルカムホール）】

中城御殿や首里地域散策のためのインフォメーション・休憩スペースとして利用

#### ■ インフォメーションの場

- ・ インフォメーション展示を活用しながら中城御殿や首里城公園、琉球文化の利用案内を実施
- ・ 地域周遊前の情報収集の場

#### ■ 休憩スペース

- ・ 散策の休憩で滞在できる場。



沖縄観光情報センター



デジタルサイネージを用いた解説例（首里杜館）

### 【表御殿西側エリア（多目的ホール、体験室、体験・交流ホール（交流ひろば）等）】

中城御殿及び首里城公園、首里地域の歴史や文化に関する体験・交流に関する利用

#### ■ 体験学習会や文化講演会

- ・ 館主催の文化講座、勉強会、体験学習会等の催事の利用
- ・ 施設ツアー、地域周遊ガイドの事前レクの場
- ・ 首里地域における歴史・文化・芸術の発表の場。

#### ■ 歴史まちづくり活動の場

- ・ 首里城と地域の協働の場
- ・ 歴史文化、まちづくりに関する活動の場（会議や勉強会等）。



首里城での体験学習



首里公民館での中城御殿地域意見交換会

## 8. 中城御殿の利用イメージ（案）

### 【表御殿東側エリア】

往時の木造建物や庭園の空間を活かした、自主事業（イベント等）や貸空間、休憩スペースとして利用

#### ■ 芸能鑑賞会

- ・ 歴史的雰囲気を活用した芸能鑑賞会や年中行事のイベント。

#### ■ 祝い事の会場

- ・ 特別感や地域特性を演出する地域の祝い事の会場で利用。

#### ■ 休憩スペース

- ・ 木造復元の畳間を来訪者の休憩の場として利用。



芸能鑑賞会

美栄での芸能披露  
（首里城公園友の会より）



十三祝いやニービチの会場

識名園での宮廷結婚式

#### ■ 歴史文化に関連するグループの活動の場

- ・ 首里方言、三線、舞踊、キューナ等、琉球や首里の文化に関する活動の場。声や音が施設の雰囲気づくりに。

#### ■ 地域住民の活動の場

- ・ お茶席や俳句など、多世代が集まり学びあえる場として、座敷を柔軟に活用。



文化講座

首里城鎖之間での文化講座  
（首里城公園友の会より）



お茶席の会場

首里城系図座・用物座での呈茶サービス